

整備新幹線(未着工区間)の沿線自治体における まちづくりの概況について

国土交通省鉄道局

北海道新幹線開業に向けた沿線市町のまちづくりの取組

北海道作成



<p>札幌市</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・フードコンプレックス総合特区やコンテンツ特区による新産業創出・文化創造 ・冬でも安全・快適な札幌駅前地下歩行空間の整備
<p>小樽市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物などを結ぶ観光ネットワークづくり ・「環日本海クルーズ」の拠点港化 	
<p>くっちゃん 倶知安町</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・通年型国際観光リゾート地の創出(スキーと夏のアウトドア) ・外国人向けコンドミニアム等を活用した長期滞在の推進
<p>おしゃまんべ 長万部町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洞爺湖・登別温泉などとの広域観光ルートづくり ・温泉施設などを活用した滞在型観光の推進 	
<p>やくも 八雲町</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・噴火湾パノラマパークなどを核とした太平洋と日本海の魅力を活かした観光振興 ・自然環境と都市機能を活かした移住定住の促進

※各市町の駅周辺整備構想や総合計画等より

北海道新幹線倶知安駅を中心としたまちづくりの考え方

北海道作成

倶知安町周辺の魅力ある観光資源等

倶知安町

アウトドア体験

アウダ体験

パウダースノー (ニセコ地区)

黒松内町

外国人観光客の増加

北限のブナ林 (黒松内町)

京極町 京極の名水

北のまるしえ (真狩村)

外国人観光客の増加

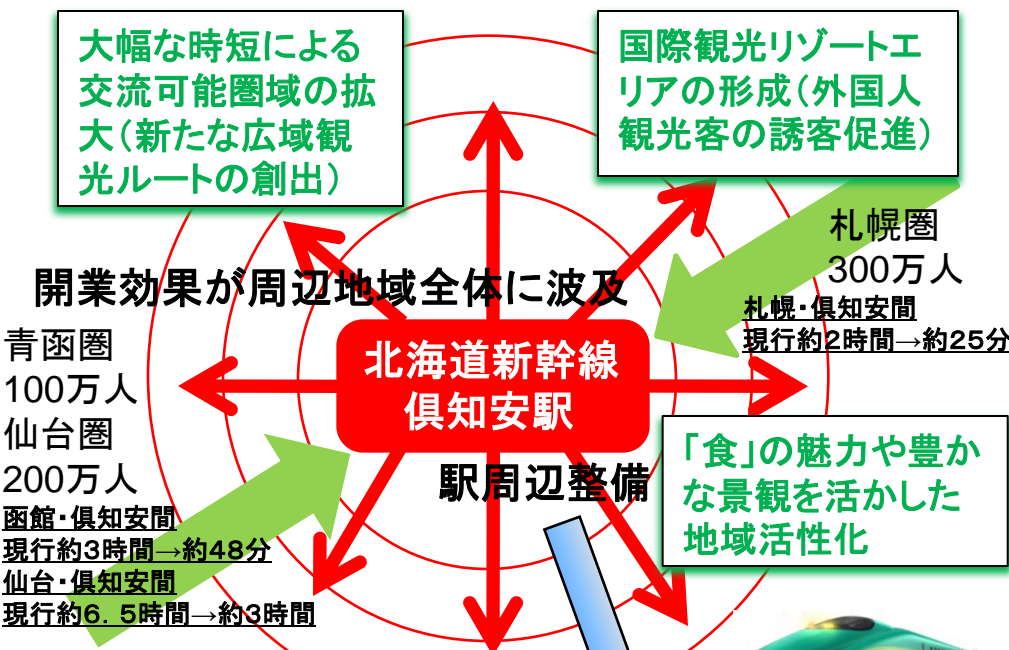
黒松内町

外国人観光客の増加

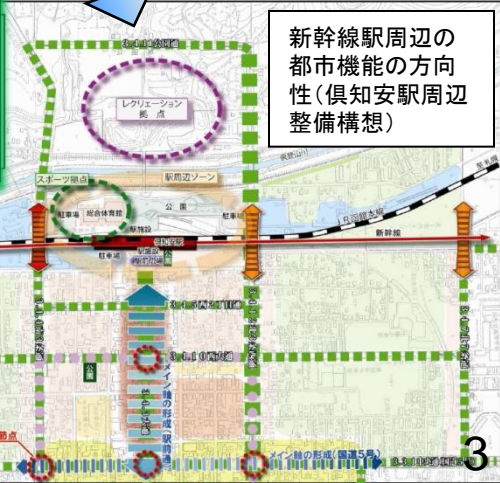
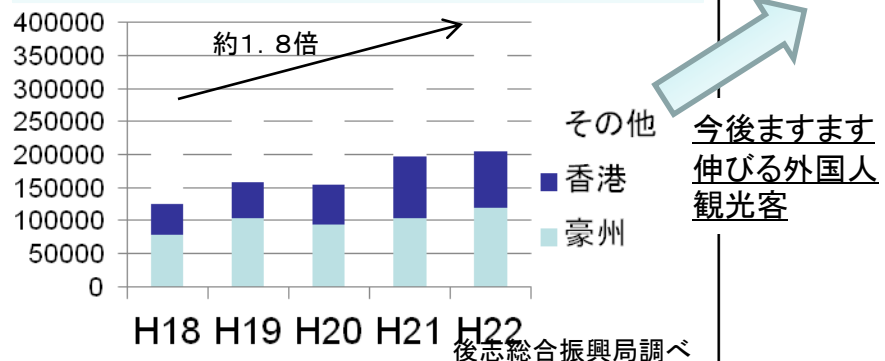
北限のブナ林 (黒松内町)

登別市

新幹線の開業効果イメージ

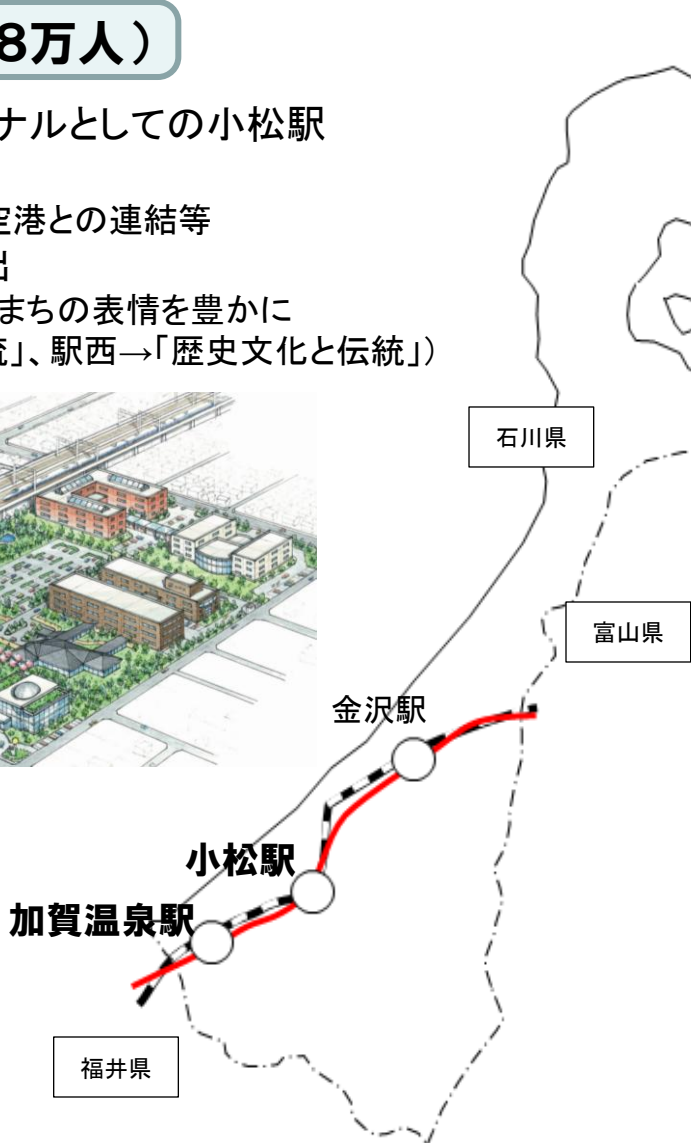


後志管内外国人宿泊客延数の推移



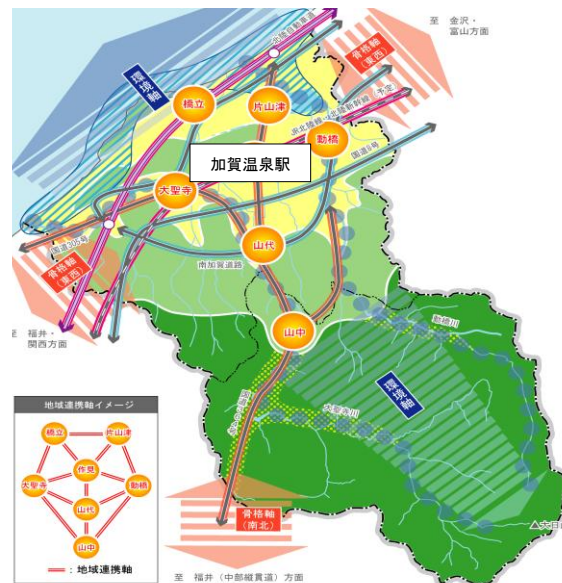
小松市(人口10.8万人)

- 南加賀地域のターミナルとしての小松駅の機能充実
二次交通の充実、空港との連結等
- 駅周辺の賑わい創出
東西のコントラストでまちの表情を豊かに
(駅東→「科学と交流」、駅西→「歴史文化と伝統」)



加賀市(人口7.1万人)

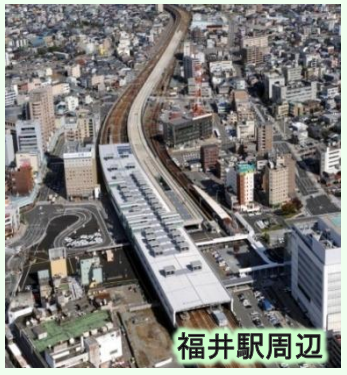
- 加賀温泉郷(山中、山代、片山津)の玄関口となる加賀温泉駅の周辺整備を促進
・交通広場の機能充実、南北連絡通路等



福井県内の新幹線沿線のまちづくりの状況

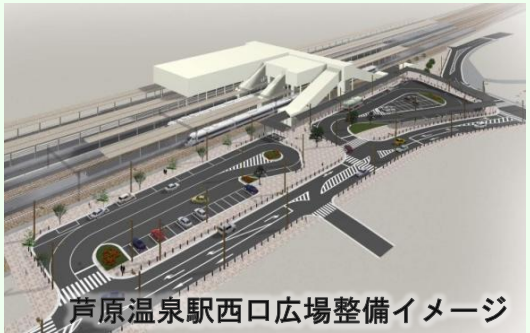
福井市（人口26.7万人）

- ・ 駅東口・西口整備による「県都の顔」づくりの推進
- ・ 県と市で「県都デザイン戦略」の策定に着手
- ・ 新幹線と道路との一体整備による、渋滞緩和、広域的な連携強化



あわら市（人口3.0万人）

- ・ 観光の拠点となる「あわら温泉」と、周辺の観光資源を活かしたまちづくり



越前市（人口8.6万人）

- ・ 新設駅による新たな広域交通の拠点として、高速ICが近接する利点を活かしたまちづくり



敦賀市（人口6.8万人）

- ・ 近接する関西・中京圏とのロケーションを活かした「港まち敦賀」にふさわしい賑い交流拠点づくりに向け、駅舎の改築、周辺整備の推進



地域の概要

- ・年間 **80** 万人余が訪れる「**関西の奥座敷**」あわら温泉
- ・周辺には、東尋坊、一乗谷朝倉氏遺跡、恐竜博物館、永平寺など**有数の観光地**
- ・白山連峰から越前加賀海岸にいたる雄大な自然と史跡に囲まれた**観光の拠点**



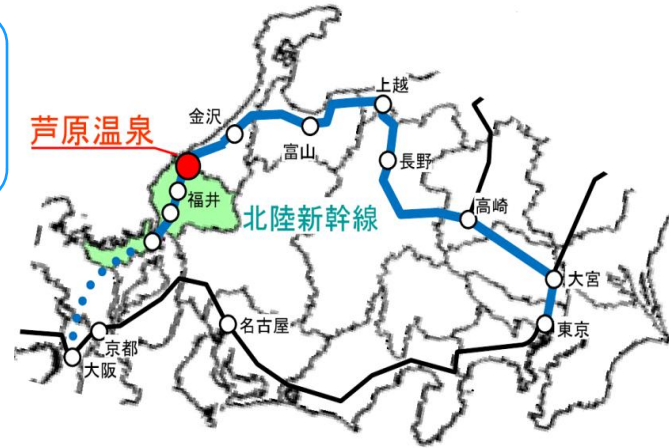
130年の歴史 あわら温泉



世界三大奇勝 東尋坊



国内最大級 恐竜博物館



新幹線開業に向けた戦略

- ・新たに交流人口の拡大が見込まれる**首都圏、北関東、信越**などをターゲットとした観光誘客
- ・誘客促進を図るため、**石川県加賀地域と連携**した文化資源の魅力向上と情報発信（吉崎御坊跡、大聖寺山の下寺院群など）

戦略の展開

・観光客の誘致

→民間主導で生み出した26の多彩な体験プログラムで地域の魅力を毎年発信

「温泉泊覧会（オンパク）」

→石川県加賀地域と連携し、温泉、歴史遺産など共通の地域資源を活かした

観光ルート「**越前加賀宗教文化街道**」の開発と首都圏への売り込み

・まちの魅力を向上

→郷土の偉人「藤野巖九郎」記念館や、芸妓体験などができる新たな賑いの核となる「**あわら温泉湯のまち広場**」を整備

→あわらの伝統行事「本陣飾り物」を展示し、市民と観光客が憩える「**にぎわい交流施設**」の整備など、新幹線芦原温泉駅設置に対応したまちづくりを推進中



オンパク体験プログラムの一例

- ・旅館女将と芦原芸妓がおもてなし
- ・竹工芸体験
- ・トマトの収穫体験と料理教室

長崎 駅

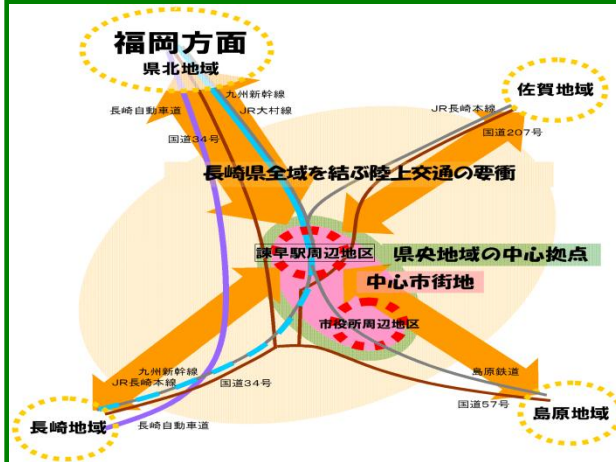


長崎駅周辺土地区画整理事業



長崎駅周辺では、新幹線建設計画と合わせて、JR長崎本線連続立体交差事業、土地区画整理事業を実施し、総合的なまちづくりを図る。

諫早 駅

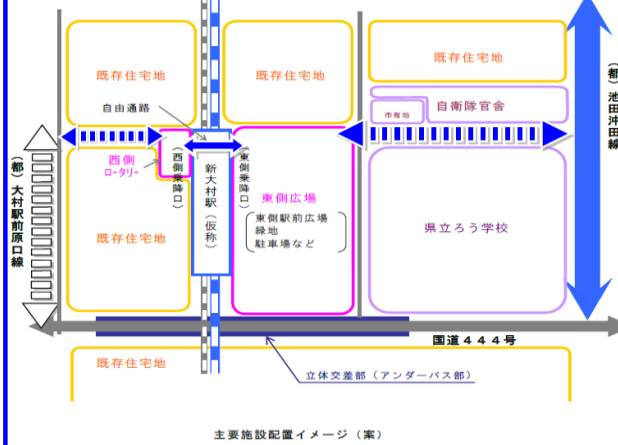


諫早駅周辺整備イメージ(東口)



諫早駅周辺では、駅を中心に、鉄道、自動車、バス等との交通利便性向上を図り、県央地域・島原半島等の玄関口として「広域交通結節点」「交流拠点」の機能を備えたまちづくりを図る。

新大村 駅



新大村駅周辺については、空港、高速道路のICと連携した広域的交通網の玄関口として整備するとともに、中心市街地や主要観光地などの各拠点との連携強化を図る。

アジア（上海）、離島のゲートウェイとしてのまちづくり

西九州ルートは、アジア(上海)や離島につながる新幹線であり、長崎駅周辺では新幹線駅と離島発着ターミナルや国際観光ふ頭と一体となったまちづくりを進めている。



平成24年2月29日に
長崎～上海航路開設
(予定)

